

## 議案Ⅲ 2019年度活動計画

「市民アーカイブ多摩」開館6年目となる今年度は、収集・保存・公開の体制整備に引き続き取り組むとともに、運営組織である「ネットワーク・市民アーカイブ」の持続可能性を高めるため、法人化の準備を含む組織強化の活動を先に進めます。

開館業務の安定化に加え、積極的な広報活動やさまざまな公開事業を通して、より多くの人びとが市民活動資料と出会う機会を増やしていきます。

さらに、今後の活動を見据えて、長期計画に関する議論を先に進めます。

### (1) 「市民アーカイブ多摩」の整備を進め、利用者を増やします。

- ① 「市民アーカイブ多摩」を月6～7回程度開館する。
- ② 資料整理を進める。
- ③ 公開体制の安定化のために、人員確保、研修機会、連絡会等の充実を図る。
- ④ 資料収集方針を検討し、収集システムを整備する。
- ⑤ 当番連絡会議を定期的で開催する。
- ⑥ 施設整備を行う。
- ⑦ その他、「市民アーカイブ多摩」運営のために必要なことを行う。

### (2) 学習・研究活動を行います。

- ① 市民活動や市民活動資料に関する講演会や学習会、見学会を行う。
- ② 資料室運営に関して学習会活動を行う。
- ③ 他団体・機関の講演会等に積極的に参加し、また他紙誌に寄稿する。
- ④ ネットワーク・市民アーカイブの歴史や活動の紹介冊子の編集作業に着手する。
- ⑤ その他、必要に応じて調査・学習・研究活動などを行う。

### (3) 広報活動を行います。

- ① 『アーカイブ通信』を年3回発行する。
- ② 案内パンフレットを利用し、市民アーカイブ多摩を広く宣伝する。
- ③ ホームページの更なる充実を図る。
- ④ 「市民アーカイブ多摩」を広く知ってもらうために、緑蔭トークを開催する。
- ⑤ 各種メディアや関連機関・団体への広報を積極的に行う。
- ⑥ その他、必要に応じて広報活動を行う。

### (4) 「ネットワーク・市民アーカイブ」の組織基盤を強化します。

- ① 総会を開催する。
- ② 拡大運営委員会を月1回開催する。
- ③ 部会（資料、企画、広報）を定期的で開催し、具体的な事業について検討するとともに、各部会相互の連携をより密にする。
- ④ 事務局機能の充実をはかる。
- ⑤ 「ネットワーク・市民アーカイブ」の将来展望について意見交換や学習会を行い、法人化に向けた準備を進める。
- ⑥ 助成資金への応募を含め、財政基盤の強化を図るための検討を行う。
- ⑦ その他、必要なことを行う。

### (5) 市民活動資料の収集・提供を行なう各機関・団体との連携に努めます。

- ① 寄贈した資料がより幅広く活用されるように、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズと協働する。
- ② その他、関係機関・団体との連携・交流や、共催事業などを行う。